

社会情報学会 (The Society of Socio-Informatics) ニュース

No.7 2013.10.31



一般社団法人社会情報学会 (SSI)

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17

三鷹ビジネスパーク SOHO プラザ A-301

Tel /Fax : 0422-54-4633 e-mail : office@ssi.or.jp

社会情報学会 (SSI) 会費等振替口座 (ゆうちょ銀行振替口座)

- ・加入者名 (一社) 社会情報学会
- ・口座番号 00150-4-608268

目次

I	2013 年度第 2 回一般社団法人社会情報学会理事会議事録 (2013 年 9 月 15 日開催)	… p.2
II	委員会報告	… p.4
III	支部長会議報告	…p.12
IV	支部報告	…p.13
V	2013 年社会情報学会 (SSI) 学会大会	…p.15
VI	2013 年社会情報学会 (SSI) 会員集会	…p.16
VII	事務局より	…p.16

I 2013年度第2回一般社団法人社会情報学会理事会議事録

召集通知年月日	2013年8月15日(木)
開催年月日及び時刻	2013年9月15日(日)12時00分～13時00分
開催場所	早稲田大学16号館612教室
出席理事	和泉 潤・伊藤 守・今田寛典・岩井 淳・遠藤 薫・ 大國充彦・太田敏澄・河又貴洋・北村順生・木村忠正・ 國領二郎・五藤寿樹・櫻井成一朗・田中秀幸・西垣 通・ 橋元良明・安田孝美・山口いつ子・山本佳世子
欠席理事	岡田 勇・金 相美・後藤玲子・富山慶典・新川達郎・ 正村俊之
出席監事	黒葛裕之・藤井史朗
事務局	岩井 淳・和泉恵子

審議事項

- 第1号議案 入会
- 第2号議案 2013年度学会賞の選考結果について
- 第3号議案 財務部会

報告事項・その他

1. 2012年度第6回理事会議事録
2. 2013年度第1回理事会議事録
3. 退会
4. 委員会報告
5. 支部報告
6. 2013年学会大会
7. スケジュール案
8. その他

開会(12時10分)

理事総数25名中19名の出席により、定款第46条に定めた定足数が満たされており、理事会が成立することを事務局において確認した。本議事録の書記は岩井理事。

審議事項

第1号議案 入会

団体会員1団体および個人正会員7名、学生会員8名の計15件の入会申込について審議し、これを承認した。(総務委員会の提出資料中の14名の他、理事会の開催当日に申込みのあった正会員1名の申請を理事会として認め、計15名を承認した。)

第2号議案 2013年度学会賞の選考結果について

表彰委員会の推薦に基づき、以下のように決定した。

社会貢献賞：

社会情報学会・復興情報支援チーム「山元復興学校」

代表者：服部 哲(神奈川工科大学)・吉田 寛(静岡大学)

論文奨励賞：

柳瀬 公（東洋大学）

計量テキスト分析によるメディア・フレームの探索的検討

－「放射性セシウム汚染牛問題」の新聞記事を通して

（社会情報学第1巻第2号 61-76）

博士論文賞：

渡邊 隼史（東京工業大学）

企業信用調査データに見られるゆらぎの統計物理学的手法による解析とモデル化

修士論文賞：

石井真和（電気通信大学）

大気拡散モデルと GIS を用いた環境リスクの評価方法に関する研究

修士論文奨励賞：

向井大誠（電気通信大学）

環境適応のための組織間連携を支援する制度設計シミュレーションに関する研究

また、「新進研究賞（仮称）」について、伊藤会長より「（仮称）」と付している経緯についてご説明があり、本理事会でこの「（仮称）」を除いて「新進研究賞」と定める提案がなされた。本件では様々なご意見の提出があり、時間の都合により、改めて検討することとした。

第3号議案 財務部会

懸案であった財務部会について、伊藤会長より、総務委員会と連携した構成とする方針についてご説明があった。また、具体的な構成員について、遠藤総務委員長より、伊藤会長、遠藤総務委員長および総務委員会の石島委員、岩井委員、太田委員の5名とする提案がなされ、承認された。

報告事項

1. 2012年度第6回理事会議事録について、確認した。
2. 2013年度第1回理事会議事録について、確認した。
3. 16名の正会員の退会について、確認した。
4. 各委員会からの報告を議事録等の資料に基づき確認した。また、下記の点について確認した。
 - 渉外委員会とネットワーク委員会の規定が委員会規定に含まれていない点について、現在総務委員会で検討中である。
 - 学会誌編集委員会では英文誌の電子化の検討を進める予定であるが、承認された場合には、現在既に行っているCFPを（電子媒体としての発行であることが判るように）修正する必要があると思われる。この点は、学会誌編集委員会の判断で訂正してよいものとする。
 - 研究活動委員会では公募型研究の公募を開始する予定であり、従来よりも幅広くアナウンスを行うものとする。
 - 選挙制度検討委員会は、交代時期の約一年前からの選挙準備が必要という認識に至っており、今後より具体的な手順を検討していく予定である。
 - 将来委員会は関連のWSを学会大会内で開催しており、その結果を踏まえた報告を今後予定している。
5. 伊藤会長より9月13日（金）17:15より早稲田大学で支部長会議を開催したことについてご説明がなされた。また、中部支部の安田支部長より、若手会員を重視した支部としての研究会を開催した経緯についてご説明がなされた。同研究会では50名を超える参加者があり、支部としての表彰も行われた。
6. 2013年学会大会の開催状況について、伊藤会長より以下のご説明がなされた。台風の影響はあるが、昨年の学会大会を超える参加者数が見込まれている。また、例年と異なり薄手のプログラム冊

子を配布した点について、参加者には好評の様であり、来年の学会大会以降も継続していくのが望ましいと思われる。

7. 現時点で確定している委員会、支部等の年間活動スケジュールを確認した。

第3回理事会は12月14日（土）14:00より駿河台記念館において開催される。

以上をもって本日の議事を終了したので議長は閉会を宣した。

決議を明確にするため、この議事録を作成し、代表理事、理事、監事が記名押印する。

2013年9月15日

一般社団法人社会情報学会

代表理事	伊藤 守	印
理事	遠藤 薫	印
理事	橋元良明	印
監事	黒葛裕之	印
監事	藤井史朗	印

II 委員会報告

委員会活動の報告は学会HPにも掲載され始めておりますので、あわせてご覧ください。また議事録については、正式な承認手続きが未終了のため議事項目のみを掲載している場合がありますので、どうぞご了解ください。

II-1 総務委員会

総務委員会委員長 遠藤 薫

2013年度第1回（一社）社会情報学会総務委員会議事録

- ・日時 2013年8月5日（月） 16:30-18:00
- ・場所 早稲田大学16号館712号室
- ・出席者（敬称略）
遠藤 薫、石島 隆、今田寛典、太田敏澄、五藤寿樹、山口いつ子、岩井 淳
オブザーバ〔会長、副会長、旧委員〕伊藤 守、橋元良明、廣松 毅、黒葛裕之、和泉恵子

議事

1. 入会・退会
2. 学会大会進捗状況
3. 前年度継続審議事項
4. 財務状況
5. 年間スケジュール・中長期計画
6. その他

- (1) ネットワーク委員会担当者
- (2) 次年度大会開催校
- (3) パンフレット

議事概要

旧総務委員会の引き継ぎを兼ねて開催した。各自が自己紹介を行った後に議事を開始した。

- 1) 資料に基づき、昨年度以降の入退会の状況を確認し、前回の理事会以降に入会申請のあった11名（正会員5名、学生会員6名）について次回理事会に提案することとした。
- 2) 学会大会の進捗状況について、以下の点を確認した。
 - ・ポスターの印刷を終了し、大学に郵送するなど広報を開始している。
 - ・プログラムはほぼ完成して部屋割りの段階である。例年よりもペースは早い。
 - ・研究論集は電子的にアクセスするものとして、冊子体の研究論集は印刷しない予定である。ただしプログラム冊子を来られた方に配布する。以上で約20万円の経費削減を見込む。
- 3) 前年度継続審議事項について、以下の点を確認された。
 - ・選挙制度における問題を検討する選挙制度検討委員会が活動中であること。
 - ・学会のロゴが未確定であること。本件は五藤委員が基本方針を検討されることとなった。
 - ・学会の財務状況に支出が収入を上回りがちな問題があること。（次項の議事項目参照）
- 4) 資料に基づき、学会の財務状況を確認し、以下の方針を確認した。
 - ・次年度以降の予算案作成に際しては、前年度までの実績から総務委員会で一定のプランを立てた上で各委員会・支部に希望を伺い、それを踏まえて最終案を総務委員会内で組むという手順が合理的と思われ、今後この手順の確定のための検討を行っていく。
 - ・旅費による支出が大きい問題に関して（例：「理事会旅費交通費」予算金額50万円）、算出式の改訂、理事数の削減も含めた対応が必要になる可能性があり、今後より詳細な検討を行っていく。学会としての旅費支出が限定的になる場合、理事会を年一回は関西圏で開催する等、一定の公平性を担保することも併せて検討する。
 - ・学会誌発行費が大きい問題に関して（「和文学会誌発行費」予算金額150万円、「英文学会誌発行費」予算金額50万円）、まずは英文誌を対象に、学会誌の電子化を検討する。
- 5) 総務委員会以外の各委員会を含めた年間スケジュールを資料で確認し、中長期的視点から以下の方針を決定した。
 - ・総務委員会が法務と財務を併せて担当する負担上の問題に関して、これまで新たに財務委員会を設ける案があったが、作業効率の観点から、やはり新委員会の設置は避けることが望ましいと思われる。総務委員会内に財務専門の部会を設けることを次回理事会に提案する。
 - ・理事会とは別に、全委員長による会議、全支部長による会議もあることが望ましい。2013年度は学会大会の機会に時間が確保できないか工夫する。
 - ・学会大会後の通常理事会を以下の日程で開催することとする。
 - ・12月14日（土）14:00～16:00〔駿河台記念館（予定）〕
 - ・3月1日（土）14:00～16:00〔駿河台記念館（予定）〕これに合わせ、総務委員会を以下の日程で開催することとする。
 - ・12月13日（金）18:30～20:30〔学習院大学（予定）〕
 - ・2月28日（金）14:00～16:00〔学習院大学（予定）〕
 - ・将来構想委員会を中心に学会の将来構想の検討が進んでおり、その議論の推移を踏まえて、総務委員会でも中長期的視点からの検討を継続する。学会外からの資金獲得方法の検討等を含める。（現在は困難なもの、以前であれば学会の補助金を科研費等から得るアプローチも考えられた。）

6) その他、以下の各点を確認した。

- ・ 総務委員会からのネットワーク委員が未定である点に関して、伊藤賢一会員に新たに総務委員会に加わってご担当を頂ける見通しであること、また、本件に関して総務委員会の委員の増員を次期理事会に諮ることを確認した。
- ・ 次年度の学会大会開催校に関して、伊藤会長を中心に総務委員会の問題として依頼を進めていくことを確認した。
- ・ 広報用に学会のパンフレットがあることが望ましいが、価格を抑える必要がある点に関して、自作支援用のソフトウェアの購入が有望であることを確認した。

次回の総務委員会は、9月14日（土）8:00～10:00に早稲田大学で開催する。

2013年度第2回（一社）社会情報学会総務委員会議事録〔議事のみ〕

- ・ 日時 2013年9月14日（土） 9:00－9:50
- ・ 場所 早稲田大学16号館709号室
- ・ 出席者（敬称略）
遠藤 薫、伊藤賢一、太田敏澄、五藤寿樹、山口いつ子、岩井 淳
オブザーバ〔会長〕伊藤 守
事務局 岩井 淳、和泉恵子

審議事項

1. 入会
2. 財務部会
3. 委員会規則修正案
4. ロゴ
5. その他

報告事項

1. 前回議事録
2. 退会

II-2 研究活動委員会

研究活動委員会委員長 正村俊之

1. 定例研究会専門委員会

ただいま下記の定例研究会の準備を進めております。

(1)第1回定例研究会

- ・ 12月6日（金） 18時30分～
- ・ 立教大学 池袋キャンパス 12号館 2階会議室
- ・ 報告者: イ・グァンソ(Lee Kwang-Suk)(ソウル科学技術大学)
- ・ テーマ: 「サイバー社会活動の拡大: 韓国におけるデジタル・アクティビズム小史」
(英語・通訳あり)
- ・ 討論者 (未定)

(2)第2回定例研究会

- ・1月11日(予備日25日)(土)14:00~17:00
- ・東洋大学
- ・テーマ:「原発問題を社会情報学から考える」
- ・報告者:
 - ①関谷直也(東洋大学)「原発事故と避難行動(仮題)」
 - ②桶田敦(TBSテレビ)「原発事故と報道(仮題)」

第3回定例研究会

- ・2月16日(日)14:00~17:00(開催地:名古屋)
- ・テーマ:「ネット選挙解禁と投票行動—新しい『公共圏』の可能性を考える」
- ・報告者:
 - ①原聖子(明治大学)、②橋元良明(東京大学)、③金相美(名古屋大学)
- ・討論者:佐藤哲也(静岡大学)
- ・司会:高橋徹(中央大)
- ・開催地コーディネート:和泉潤(名古屋産業大学)
- 研究会内容コーディネート:高橋徹(中央大)

2. 若手企画専門委員会

2013年学会大会において下記の若手カンファレンスと若手ワークショップを開催しました。

(1) 学会大会若手カンファレンス: 都市空間と情報化される大学・大学生・大学街

- ・9月13日(金)17:30-20:00 早稲田大学16号館1階談話フロア
 - ・報告者:
 - ①大部由香(フリーランス)、②中村真広(ツクルバ)、③山下正太郎(コクヨ)、④松下慶太(実践女子大)
 - ・コメンテータ:森野聡子(静岡大学)
 - ・司会:河野義弘(東京情報大学)
- いずれの報告者からも実践的かつ刺激的な内容の発表があり、コメンテータとフロアもあわせテーマに関し積極的な意見交換がおこなわれた。参加者は20名を超え、飲食しながら有意義な時間を共有した。

(2) 学会大会若手ワークショップ: Information and Communication Technology and Urban Space

- ・9月14日(土)10:00-12:00 早稲田大学14号館102教室
 - ・報告者:
 - ① Hye-Jin Park (Ulsan National Institute of Science and Technology)
 - ② Love Kindstrand (University of Chicago)
 - ③ Kaoru Sunada (Center for Global Communications, International University of Japan) and Joong Sun Lee (Tokyo Institute of Technology)
 - ・司会:Tomohisa Hirata (Kyoto University)
- Skypeを取り入れることで海外からも発表・参加しやすい形式をはじめ採用した。午前のセッションにもかかわらず15名の参加があり熱心な議論が展開された。

3. 公募型研究会の募集

このたび、下記の要領で公募型研究会を募集することになりましたので、ご応募いただければ幸いです。

1. 公募型研究会の趣旨

社会情報学に関する研究会を会員の発意によって行うことを支援する。

2. 要件

社会情報学に関する研究であること。

複数の会員によって研究組織が構成されること。

1年間の研究であること（ただし、1年に限り継続することができる）。

研究会等を通じて研究成果を会員に還元すること（毎年度1回以上）。

3. 支援内容

研究会に必要な経費を5万円を上限に支援する。複数の研究会が発足した場合には、その数に応じて支援額を配分する。

4. 対象件数

年間2件程度

（註）複数の提案であっても、申請者の構成員が同一、又は、重なりが多い場合には、一本化の調整等を依頼する場合があります。

5. 応募方法

以下の内容を記した書類を添付ファイルにして提出する

(1) 研究テーマ

(2) 研究概要

(3) 研究組織（構成員）

○提出先・問い合わせ先：研究活動委員会・田中秀幸

（2013年10月18日の学会員宛メールをご覧ください。）

○締切：2013年11月15日（金）

○研究活動委員会において検討、決定の上、結果をご連絡します。

II-3 学会誌編集委員会

学会誌編集委員会委員長 橋元良明

SSI 学会誌編集委員会 2013年度第1回委員会 議事録 [議事のみ]

日時：2013年9月15日 16:15～18:00

場所：早稲田大学 16号館 709室

出席者(敬称略)

橋元良明[委員長](東京大学)、遠藤薫[副委員長](学習院大学)、北村順生[副委員長](新潟大学)、櫻井成一郎[副委員長、英文誌主任](明治学院大学)、(以下50音順)伊藤賢一(群馬大学)、今田寛典(広島文化学園大学)、岩井淳(群馬大学)、大國充彦(札幌学院大学)、五藤寿樹(日本橋学館大学)、是永 論(立教大学)、服部哲[ネットワーク担当](神奈川工科大学)、吉田純(京都大学)、吉田寛(静岡大学)

欠席者

岡田安功(静岡大学)、岡田勇(創価大学)、河又貴洋(長崎県立大学)、金相美(名古屋大学)、黒須俊夫(国士舘大学)、小郷直言(大阪大学)、後藤玲子(茨城大学)、田中秀幸(東京大学)、野田哲夫(島根大学)、山本佳世子(電気通信大学)

(文責：橋元)

【報告事項】

1. 和文誌学会誌刊行状況
2. 第2巻第2号編集長
3. 英文誌 (Vol.6, No.1)の編集刊行状況
4. ネットワーク担当委員
5. その他

【審議事項】

1. 表彰委員会からの依頼（優秀論文賞ないし論文奨励賞への推薦）について
2. 英文誌の電子化
3. 投稿論文連名著者の会員資格について
4. 英文誌英文チェックの件
5. 第2巻第3号、第3巻第1号編集長候補者について
6. 第2巻第3号以降の企画について
7. 学会誌編集刊行業務・業務分担の確認
8. 査読進行状況の開示・サイトへのアップ
9. 投稿審査に関する情報の保管・伝達について
10. 学会誌投稿に向けたスクリーニングセッションの開催
11. その他

II-4 表彰委員会

表彰委員会委員長 太田敏澄

(一般社団法人) 社会情報学会 2013年度 第一回表彰委員会 議事録

日時 2013年5月18日(土) 13:00-14:30

会場 学習院大学東2号館8F 第三会議室

出席者 伊藤賢一, 遠藤薫, 横山正人, 太田敏澄(文責)

欠席者 有馬昌宏

議事

1. 大学院学位論文賞の選考について
 - (1) 各論文について3名の評価委員による評価を行うこととした。なお、評価委員は、広く評価を求めるため、表彰委員会委員、学会の役員、会員より選考することとした。
 - (2) 評価委員分担案を作成した。分担表は、「13 学位論文評価委員一覧 051813」の通りとした。
なお、この分担案を作成するに当たり、以下の点に留意することとした。
ア. 推薦者は当該学位論文の評価委員を担当しない。
イ. 評価委員は、原則として、推薦者ないし学位論文著者の所属する大学とは異なる大学に所属する者とする。
 - (3) 評価結果は、2013年度大学院学位論文賞評価結果の用紙を用いて、7月31日までに委員長宛てに送付することとした。なお、同委員長が利害関係者の場合、副委員長宛てに送付することとした。なお、評価結果の作表においては、評価委員担当表との対応関係が判別できないよう匿名化した作表とする。
 - (4) 選考においては、3名の評価委員の評点の平均値を用いる。なお、評点にばらつきが大きい

場合には、中位者の評点に着目する。

2. 優秀論文賞，論文奨励賞の推薦支援依頼について

編集委員会委員長に、学会誌（和文誌，英文誌）掲載論文についての推薦支援を依頼することとした。

3. その他

(1) 新進研究賞（仮称）について

意見交換を行い，引き続き，検討を行うこととした。

(2) 2013年度の表彰委員会による推薦公募スケジュールなどを作成した。

第二回表彰委員会の予定 8月26日（月）13：00－（会場：学習院大学）

学会功労賞，社会貢献賞，国際貢献賞，優秀文献賞，優秀論文賞，論文奨励賞，大学院学位論文賞の選考

以上

(一般社団法人) 社会情報学会 2013年度第二回表彰委員会 議事録

日時：2013年8月26日（土）13：00－14：50

会場：学習院大学 目白キャンパス東2号館8階第三会議室

出席者：有馬昌宏，伊藤賢一，遠藤薫，横山正人，太田敏澄（文責）

欠席者：なし

議題：

1. 学会功労賞，社会貢献賞，国際貢献賞の選考について

1. 1 2013年8月7日締切にて推薦を公募したところ，学会功労賞には推薦なし，社会貢献賞には推薦1件，国際貢献賞には推薦1件という結果であった。

1. 2 社会貢献賞につき，

社会情報学会・復興情報支援チーム「山元復興学校」

代表者：服部 哲（神奈川工科大学）・吉田 寛（静岡大学）

の推薦を受理し，授賞候補団体とすることとした。

1. 3 国際貢献賞につき，今回は推薦の受理を見送ることとした。

なお，これは，締切の期限を過ぎた推薦であったこと，および刊行の実績を確認することのできる資料が添付されていなかったことにより，次回の推薦を期待することとしたためである。

2. 優秀文献賞，優秀論文賞，論文奨励賞の選考について

2. 1 2013年7月10日締切にて推薦を公募したところ，優秀文献賞には推薦2件，優秀論文賞には推薦1件，論文奨励賞には推薦1件という結果であった。

2. 2 推薦文献ないし推薦論文について，各3名の評価委員を選考し，それぞれの評価結果を得た。

2. 3 優秀文献賞は，評価結果に基づき審議し，該当なしとした。

2. 4 優秀論文賞は，評価結果に基づき審議し，該当なしとした。

2. 5 論文奨励賞は，評価結果に基づき審議し，

柳瀬 公（東洋大学）

計量テキスト分析によるメディア・フレームの探索的検討

－「放射性セシウム汚染牛問題」の新聞記事を通して

社会情報学第1巻第2号61-76

を授賞候補論文とした。

3. 大学院学位論文賞の選考について

3. 1 2013年4月17日締切にて推薦を公募したところ、博士論文には推薦3件、修士論文には推薦10件という結果であった。
3. 2 第一回表彰委員会（2013年5月18日開催）で選考した評価委員（各論文3名）に評価を依頼し、評価結果を得た。なお、評価委員は、広く評価を求めるため、表彰委員会委員、学会の役員、会員より選考することとした。
3. 3 博士論文賞は、評価結果に基づき審議し、
渡邊 隼史（東京工業大学）
企業信用調査データに見られるゆらぎの統計物理学的手法による解析とモデル化を授賞候補論文とした。
3. 4 博士論文奨励賞は、評価結果に基づき審議し、該当なしとした。
3. 5 修士論文賞は、評価結果に基づき審議し、
石井真和（電気通信大学）
大気拡散モデルとGISを用いた環境リスクの評価方法に関する研究を授賞候補論文とした。なお、利害関係者となる委員は、審議に参加しなかった。
3. 6 修士論文奨励賞は、評価結果に基づき審議し、
向井大誠（電気通信大学）
環境適応のための組織間連携を支援する制度設計シミュレーションに関する研究を授賞候補論文とした。なお、利害関係者となる委員は、審議に参加しなかった。

4. 新進研究賞について

新進研究賞の趣旨は、2013年7月16日に開始したメール審議に基づき審議し、下記の通りとすることとした。

なお、新進研究賞の名称は、表彰部会を経て、表彰委員会で決定されていることにつき、委員長の説明により確認した。この件につき、直近の理事会で確認を求めることとした。

記

新進研究賞

新進の研究者の奨励を趣旨とする。

本賞は、秋山賞基金の寄付金を基金としている。

対象者は、同一年度の論文奨励賞、大学院学位論文賞（博士論文賞、修士論文賞）の受賞者とし、それらの中で最高の評価を得た受賞者につき表彰する。

なお、受賞者が複数の場合の賞金額は、均等割りの金額とする。

以上

5. その他

5. 1 次回の開催は、2013年12月14日（土）、13:00-14:00、中央大学駿河台記念館。議題は、評価基準の精査、賞の名称の英文名。

<2013年度評価委員>

2013年度の評価委員は以下の方々にお引受け戴きました。ご多用中のところ、有難うございました。（あいうえお順、敬称略、*印は表彰委員）

有馬昌宏*、和泉潤、伊藤賢一*、伊藤守、今田寛典、岩井淳、遠藤薫*、太田敏澄*、岡田勇、河又貴洋、北村順生、木村忠正、黒葛裕之、國領二郎、五藤寿樹、榊俊吾、櫻井成一朗、刀川眞、寺野隆雄、富山慶典、鳥海不二夫、新川達郎、西垣通、野田哲夫、橋元良明、服部哲、藤井史朗、牧瀬稔、正村俊之、松井啓之、安田孝美、山本佳世子、横井茂樹、横山正人*（以上34名）

以上

II-5 国際委員会

国際委員会委員長 木村忠正

オンライン委員会 第1回 (2013年9月10日～13日)

議題

1) JPAIS/JASMIN International Meeting 2013 後援について

太田委員より、12月イタリアミラノで開催される ICIS2013 (<http://icis2013.aisnet.org/>) における、JPAIS (Association for Information Systems 日本支部) /JASMIN (経営情報学会) International Meeting の SII に対して後援依頼が行われる見込みであることが報告され、国際委員会として承知した。

2) 海外の社会情報学関係コンタクトリスト作成

Journal of Socio-Informatics の刊行を知らせるためのコンタクト先リスト (社会情報学に関心を持ちそうな海外の大学 (学部・学科・コース)、研究所など) を整備することを決めた。

オンライン委員会 第2回 (2013年10月16日～20日)

議題

1) JPAIS/JASMIN International Meeting 2013 後援について

正式に JPAIS より SSI に対して、後援依頼がなされたため、最終的な承認を行った。

II-6 将来委員会

将来委員会委員長 櫻井成一郎

将来委員会設置の経緯

社会情報学会は多くの方々のご努力の下に設立されましたが、学会の理念等についてはまだ不明ではないかとのご批判も当初よりございました。そうしたご批判に応えるべく設置されたのが本委員会です。社会情報学および社会情報学会の将来を検討する委員会として、時限の委員会として設置されております。

ワークショップ「社会情報学・社会情報学会の将来を考える」の開催

将来委員会では、学会大会期間中の9月15日(日)に「社会情報学・社会情報学会の将来を考える」のワークショップを開催しました。学際的な学問である社会情報学に対するイメージは、研究者により様々であり、社会情報学と社会情報学会の将来像も、当然のことながら研究者により多様です。また、各研究者による社会情報学へのアプローチも多様です。このような社会情報学の学際性、多様性を踏まえつつ、会場の参加者を交えて社会情報学と社会情報学会の将来像について議論を深めることを目標としました。台風の影響にも関わらずお集まり下さった皆様、どうもありがとうございました。近日中にワークショップ資料を公開する予定です。

III 支部長会議報告

日時：2013年9月13日(金) 17:15～19:00

会場：早稲田大学 16号館 605室

出席： 伊藤 守〔会長〕・遠藤 薫〔副会長〕・橋元良明〔副会長〕・大國充彦〔北海道支部〕・北村順生〔東北・上信越支部〕・新川達郎〔関西支部〕・河又貴洋〔九州・沖縄支部〕

欠席： 岡田 勇〔関東支部〕・安田孝美〔中部支部〕・今田寛典〔中国・四国支部〕

事務局： 岩井 淳・和泉恵子

支部長会議は理事会等と異なり現行の学会の諸規定に基づくものではないが、このたび伊藤会長のご判断のもと、以下の観点から開催するに至った。1) 支部の諸状況の確認と情報の共有を図ること、2) 旧二学会の統合を支部レベルでも進め会員交流を促進すること、3) 現在学会を上げて取り組んでいる若手の研究支援活動の単位として支部活動が重要であり、その活動手順の共有を図ること。

はじめに、伊藤会長より以上の趣旨についてご説明がなされた。続けて、会員支部の内訳（個人会員数 北海道支部 24 名、東北・上信越支部 22 名、関東支部 390 名、中部支部 56 名、関西支部 75 名、中国・四国支部 32 名、九州・沖縄支部 23 名、その他海外）、2013 年度活動スケジュール等の資料を確認するとともに、支部活動に関する情報交換を行った。

IV 支部報告

IV-1 関東支部

関東支部長 岡田 勇

関東支部では、10月に下記の第1回研究会を開催しました。

第1回 社会情報学会 関東支部 研究会

日時：2013年10月5日（土）14時から17時

場所：立正大学大崎キャンパス 9号館 9B16 教室

テーマ：「地方自治体におけるシティセールスの取り組み」

オーガナイザー・司会：牧瀬稔（地域開発研究所）

14:00-14:05 趣旨説明

14:05-15:20 戸田市におけるシティセールスの取り組み

鈴木伸明 氏（戸田市政策秘書室）

15:35-16:50 春日部市のシティセールスについて

重枝紗智子 氏（春日部市総合政策部シティセールス広報課）

16:50-16:55 主催者 挨拶

また、現在、2014年2月12日（水）に第20回社会情報システム学シンポジウムを社会情報システム学研究会、経営情報学会「ソーシャルメディアとシミュレーション」研究部会、電気通信大学ソーシャル・セキュア・コミュニケーション科学研究ステーションと共済で開催する予定で準備を進めております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。（詳細につきましては、本ニュースの「事務局より」の案内および10月11日（金）の会員宛メールをご覧ください。）

IV-2 中部支部

中部支部長 安田孝美

中部支部では、社会情報学という新しい学問分野に果敢に挑戦している、若い研究者の皆さんをエンカレッジすることを当面の目標に掲げております。

6月には下記の第一回中部支部研究会を開催し、約50名の参加者がございました。

第一回 社会情報学会中部支部研究会

日時：6月29日（土）13時30分～16時30分

場所：名古屋大学情報科学研究科棟 第1講義室

共催：名古屋大学情報文化学部

一般論文／研究室紹介

13:30・13:50 ソーシャルメディアの政治機能に関する考察
—若年層の政治参加に与える影響について—
○杉浦央晃(名大・M1)

13:50・14:10 瀬戸市プロジェクトとゼミの紹介
○横井理乃(金城大・B3)、○岡本麻央(金城大・B3)

優秀賞エントリー論文

14:20・14:40 ラジオ CM の文化構造：コミュニティFM編
○岩瀬有紀乃(中京大・B4)、○林史弥(中京大・B4)

14:40・15:00 電気を学ぶワークショップのためのタブレットアプリと発電玩具の設計開発
○塚平彩(中京大・B4)、中貴俊(中京大)、遠藤守(中京大)、山田雅之(中京大)、
宮崎慎也(中京大)、岩崎公弥子(金城大)、安田孝美(名大)

15:00・15:20 科学館における学芸員のための展示解説支援システムの開発
○小原直輝(名大・M1)、高木英輔(名大)、浦田真由(名大)、安田孝美(名大)

15:30・15:50 子どもの探究心を高める水族館アプリの開発と実施
○近藤彩乃(金城大・M1)、岩崎公弥子(金城大)、遠藤守(中京大)、
安田孝美(名大)

15:50・16:10 観光支援のためのフォトラリーアプリの構想と実証 *
○加藤福己(名大・M1)、長尾聡輝(名大・M2)、浦田真由(名大)、
安田孝美(名大)

16:10・16:30 Social Media Usage of Marginalized Groups and Empowerment
○Eulália Vasconcelos(名大・D1)

各研究会では最も優れた発表に支部賞を授与することとしており、第一回は「*」印の研究発表の受賞となりました。

また、現在下記の第二回中部支部研究会の準備を進めております。

第二回 社会情報学会中部支部研究会

日時：12月7日(土)午後

場所：名古屋大学 情報科学研究科棟 第1講義室

論文提出期限：2013年11月16日(土)

投稿原稿：4ページ

※下記 URL の掲載情報もご確認下さい：

<http://ssici.main.jp/>

IV-3 九州・沖縄支部

九州・沖縄支部長 河又貴洋

九州・沖縄支部では、下記の「地域社会情報学研究会」の開催を準備しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

研究会名称： 「地域社会情報学」研究会

開催日時： 平成25年11月22日(金) 13:30～17:30

開催場所： 福岡大学(詳細は後日ご連絡いたします)

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/index.html>

プログラム：

第1部 地域情報化の行方

『地域情報化で地域経済を再生する』出版記念講演（熊本大学・山中守）

「福岡大学都市空間情報行動研究所(FQBIC)の研究成果から」（福岡大学・斎藤参郎）

第2部 自由論題研究発表（公募）

懇親会 研究会終了後（予定）場所（検討中）

下記 URL の掲載情報もご確認下さい：

<http://www.ssi.or.jp/commit/commit15.html>

V 2013年社会情報学会（SSI）学会大会

日時：2013年9月13日（金）～15日（日）

会場：早稲田大学 早稲田キャンパス

大会テーマ：「情報ガバナンスと民主主義」

新学会成立後第二回目となります本学会大会では、三日間で会員・非会員をあわせ 222 名の方にご参加を頂きました。台風の影響があり一時はどうなるかと心配もしましたが、無事に終了することができました。ご参加下さった皆様にあらためてお礼を申し上げます。

（学会大会実行委員長 伊藤 守）

9月13日（金）

14:00-17:00 シンポジウム 1 「震災3年目の社会情報学」

登壇者：一力雅彦（河北新報社長）、高野明彦（情報学研究所）、正村俊之（東北大学）

司会：橋元良明（東京大学）／コメンテーター：田中淳（東京大学）、吉田寛（静岡大学）

17:30-20:00 若手カンファレンス 「都市空間と情報化される大学・大学生・大学街」

報告者：大部由香（フリーランス）、中村真広（ツクルバ）、山下正太郎（コクヨ）、
松下慶太（実践女子大学）

司会：河野義広（東京情報大学）／コメンテーター：森野聡子（静岡大学）

9月14日（土）

10:00-12:00 自由論題報告・連携報告・ワークショップ 1

13:00-14:00 基調講演 「知識形態の変容と民主主義の新たな問題点」

登壇者：森政稔（東京大学）

14:15-17:15 シンポジウム 2 「グローバル化の中の情報ガバナンスと民主主義」

登壇者：津田大介（ジャーナリスト／メディア・アクティビスト）、

庄司昌彦（国際大学 GLOCOM）、上原哲太郎（立命館大学）、

保坂修司（日本エネルギー経済研究所中東研究センター）

司会：遠藤薫（学習院大学）／コメンテーター：高橋徹（中央大学）、前嶋和弘（文教大学）

17:15-18:10 表彰

〔社会貢献賞〕

山元復興学校 服部 哲（神奈川工科大学）

吉田 寛（静岡大学）

〔論文奨励賞〕

柳瀬 公（東洋大学）

〔大学院学位論文賞(博士)〕

渡邊隼史（東京工業大学）

[大学院学位論文賞(修士)]

石井真和 (電気通信大学)

[大学院学位論文奨励賞(修士)]

向井大誠 (電気通信大学)

[研究発表優秀賞]

向井大誠 (電気通信大学)

趙 章恩 (東京大学)

村舘靖之 (東京大学)

石原裕規 (電気通信大学)

上野 亮 (青山学院大学)

18:30- 懇親会 (Uni.Cafe125)

9月15日(日)

10:00-12:00 自由論題報告・連携報告・ワークショップ 2

12:00-13:00 理事会 (16号館 612教室)

13:00-14:00 会員集会 (14号館 102教室)

14:15-16:15 自由論題報告・連携報告・ワークショップ 3

16:15- 各種委員会

VI 2013年社会情報学会(SSSI)会員集会

日時: 2013年9月15日(日) 13:00~14:00

会場: 早稲田大学 14号館 102教室

会員集会は、本学会の会員の会務運営に対する意見を集約し、会員の疑問に応え、もって本学会の民主的な運営を担保するために開催することを目的とするものである。特に学会大会の機会にあわせて「通常会員集会」が開催されることとなっており、昨年の2012年学会大会に続き二度目の通常会員集会を開催した。

はじめに伊藤会長より社会情報学会(SSSI)の会務の執行状況について報告があり、続けて、各委員会の委員長より主要な決定事項や執行状況についての報告がなされた。これに対して質問や意見等は特に提出されなかった。また、伊藤会長より、2014年社会情報学会(SSSI)学会大会を京都大学で行う方向で調整が進んでいることについて説明がなされ、次回の学会大会実行委員長を担当される見込みである京都大学の吉田純会員がご挨拶をされた。

VII 事務局より

VII-1 会員の状況

2013年10月28日現在、会員総数 693名。

名誉会員 7名、正会員 621名、学生会員 54名、団体会員 11団体、賛助会員 0団体

VII-2 会費納入状況(納入率)

2013年10月現在

正会員 79%

学生会員 74%

団体会員 91%

VII-3 2013年度一般社団法人社会情報学会事業会計予算及び収支中間報告
(2013年4月1日-9月14日 単位:円)

大科目	中科目	小科目	決算金額	予算金額	増減金額	備考
I 収入の部						
1 会費収入						
	正会員		4,450,000	5,610,000	-1,160,000	個人正会員 572名、2012年度の前受会費4名振替
	正会員(減額)		85,000	115,000	-30,000	個人正会員減額博士15名、減額非正規7名
	学生会員		150,000	255,000	-105,000	学生会員49名
	団体会員		200,000	200,000	0	1社4口
	団体会員		450,000	500,000	-50,000	10社1口
	賛助会員		0		0	
2 事業収入	参加費収入		0		0	
3 寄付金収入			0	0	0	
4 雑収入	受取利息		0	0		
	その他雑収入		176,645	300,000	-123,355	CiNii(SSI, JASI)、学会誌販売他
当期収入合計 A			5,511,645	6,980,000	-1,468,355	
前期繰越収支差額			1,608,563	1,608,563	0	
収入合計 B			7,120,208	8,588,563	-1,468,355	
II 支出の部						
1 事業費						
	和文学会誌発行費		369,545	1,500,000	1,130,455	年3回発刊
	英文学会誌発行費		61,259	500,000	438,741	年1回発刊、査読謝礼、翻訳
	会員名簿作成費		0	100,000	100,000	
	学会賞		68,383	250,000	181,617	学会賞副賞、受賞者大会参加費・懇親会費
	委員会運営費		0		0	
	研究活動委員会		0	70,000	70,000	
	学会誌編集委員会		0	0	0	
	総務委員会		105,000	90,000	-15,000	旅費
	表彰委員会		90,210	80,000	-10,210	旅費
	国際委員会		0	20,000	20,000	
	渉外委員会		0	0	0	
	将来委員会		0	0	0	
	ネットワーク委員会		0	30,000	30,000	
	支部助成費		210,000	230,000	20,000	北海道5万、東北4万、 関東、中部、関西3万 中国四国1万、九州4万
	研究会助成費		45,180	100,000	54,820	
	関連学会費		68,000	68,000	0	横幹連合、社会学系コンソーシアム、『学術の動向』
	印刷費		0	20,000	20,000	
	学会大会補助費		200,000	200,000	0	
	雑費		0	0	0	
2 管理費						
	会議費		73,487	100,000	26,513	会場費他
	理事会旅費交通費		124,000	500,000	376,000	理事会3回交通費
	通信運搬費		280,625	300,000	19,375	切手、メール便、電話
	印刷費		18,660	100,000	81,340	会議資料他
	消耗品費		87,669	200,000	112,331	トナー、封筒、用紙他
	事務局賃貸料		132,629	408,000	275,371	@29,800円X12カ月 @ 4,000円X12カ月
	業務委託費		1,215,000	1,620,000	405,000	
	臨時雇用賃金		0	0	0	
	雑費		107,691	100,000	-7,691	交通費・振込手数料他
	選挙費用		0	150,000	150,000	コピー、旅費、封筒、後納料金
	法人税等		0	70,000	70,000	市税、都税、源泉所得税(学会賞・英文査読)
	総会費用		195,740	150,000	-45,740	会場、シンポジウム開催費
	前受金		0	0	0	
3 予備費						
	予備費支出		51,975	24,000	-27,975	デジタルハンプ フリペイトソフト
当期支出合計 C			3,505,053	6,980,000		
当期収支差額 A-C			2,006,592		0	
次期繰越収支差額 B-C			3,615,155	1,608,563		

VII-4 会員入会 (2013年6月9日-9月15日)

正会員

杉山 あかし 九州大学比較社会文化研究院

山田 健太 早稲田大学高等研究所

倉橋 節也 筑波大学大学院ビジネス科学研究科
鈴木 羽留香 立命館大学理工学研究科
文倉 斉 川口市役所
姜 理恵 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科
猪原 健弘 東京工業大学大学院社会理工学研究科

学生会員

中村 啓介 名古屋大学大学院情報科学研究科
齋藤 征子 名古屋大学大学院文学研究科
蓮沼 理佳 東京大学大学院情報学環学際情報学府
奥野 圭太朗 甲南大学人文科学研究科
竹口 幸志 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
植野 大輔 早稲田大学商学研究科
松本 涼子 東京大学大学院情報学環学際情報学府
尹 燦奇 東洋大学社会学研究科

VII-5 研究会等広報

1) 第 20 回社会情報システム学シンポジウム

社会情報システム学研究会では、2014年2月12日（水）に、第20回社会情報システム学シンポジウムを、経営情報学会「ソーシャルメディアとシミュレーション」研究部会、社会情報学会関東支部、電気通信大学ソーシャル・セキュア・コミュニケーション科学研究ステーションと共催にて、開催する予定です。

本シンポジウムでは、特別講演を行いますとともに、社会情報システム学に関する最先端の研究発表を公募いたしまして、採用の論文につきまして、学術講演論文集（ISSN：1882-9473）を発行いたします。また、学術講演論文集に掲載された論文の抄録は、独立行政法人科学技術振興機構のデータベース JDream II の JSTPlus に収録されます。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお願い申し上げます。

社会情報システム学研究会代表 太田敏澄

○テーマ：社会情報システム学のこれまでとこれから

○日時：2014年2月12日（水）10:00～17:15

○会場：立正大学大崎キャンパス 11号館 1151, 1152 教室

○所在：〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

山手線五反田駅西口・大崎駅北西口より徒歩5分

大学・キャンパスご案内図 URL <http://www.ris.ac.jp/access/>

○プログラム

10:15～11:45 一般セッション講演

11:45～13:00 休憩

13:00～14:30 一般セッション講演

14:45～17:15 第20回記念シンポジウム ～社会情報システム学のこれまでとこれから～

基調講演：社会情報システム学のこれまで

講演者：太田敏澄（研究会代表） 【20分】

特別講演：（仮題）日本人の情報行動 2020

講演者：橋元良明（東京大学） 【50分】

特別講演：（仮題）シンギュラリティ -2045年問題-

講演者：栗原聡（電気通信大学）

【50分】

17:30～19:30 懇親会：学内会場

※10月11日（金）の会員宛メールと下記 URL の掲載情報もご確認下さい：

<http://www.ni.is.uec.ac.jp/ISS/index.html>

2) 第6回札幌学院大学総合研究所シンポジウム（第23回札幌学院大学社会情報学部シンポジウム）

「ネット社会の光と影 ～その知のあり方と行方～」

日時：2013年12月7日（土）12:55-18:00

会場：札幌学院大学 SGU ホール

問合せ先：札幌学院大学大学院・研究課

〒069-8555 江別市文京台11番地、tel.011-386-8111（代）

【趣旨説明】

情報通信技術（ICT）の進歩とインターネットの普及は情報環境を急激に変え、我々はその影響を様々な形で受けている。今やネット社会である。情報の受発信、そして知識、情報の利活用はかつてない形で便利になっている。しかし、その反面、我々市民の行動情報も様々な形で収集され、ビッグデータビジネスに利活用されてきており、情報セキュリティの面からその収集・活用・管理のありようが大きな問題になりつつある。このような背景を踏まえ、本シンポジウムでは、各方面の専門家の方々に、ネット社会の光と影について様々な視点から議論をしていただくことにしたい。

【プログラム】

1. 開催挨拶 12:55-13:00 鶴丸 俊明（札幌学院大学学長）
2. 講演 13:00-16:45 司会：高田 洋・大國 充彦（社会情報学部）
 - 講演1：13:00-14:15
太田 敏澄（電気通信大学前教授）
ネット社会の知・情報のあり方
 - 講演2：14:15-15:30
佐々木 良一（東京電機大学教授）
ネット社会における安全と安心～情報セキュリティから IT リスク学へ～
 - 講演3：15:30-16:45
吉田 広志（北海道大学法学部教授）
ネット社会における法制度～知的財産権の扱い方～
3. 総合討論 17:00-18:00 司会：高田 洋・大國 充彦（社会情報学部）
4. 閉会挨拶 森田 彦（社会情報学部長）